

令和4年度第1回全史料協大会・研修委員会 会議録（概要）

日時：令和4年4月29日（金） 10時～17時

開催方法：オンライン方式

出席者：吹屋委員長、長谷川副委員長、新井委員、蓮沼委員、藤委員、加藤委員、
三宮委員、大月委員、事務局（吉田・山本）

1. 開会
 2. 委員長あいさつ
 3. 令和4年度委員会体制について
 - ・令和4年度委員会体制を確認（2枠は未定）
 4. 報告事項
 - ・令和3年度第4回委員会の協議内容の確認
 5. 協議事項
 - (1)令和3年度事業報告・決算報告について
 - ・それぞれ事務局より説明し承認された。
 - (2)令和4年度事業計画・予算案について
 - ・それぞれ事務局より説明し承認された。
 - (3)第48回全史料協全国（滋賀）大会について
 - ①大会会場について
 - ・ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）
→オンライン配信会場1、画面管理室1、控室1
 - ②大会日程・構成案
 - ・長谷川副委員長より今大会の日程・構成案が示され、日程、大会テーマ、研修会・大会テーマ研究会の報告内容と講師・報告者等について、それぞれ協議した。おおまかな日程は以下の通り（今後の協議により変更あり）。
- 【第1日】（10月27日）
- i) 研修会：「電子記録管理に関する研修会」（仮）（総合入門編）
 - ii) 特別研修会：「認証アーキビストのこれからを考える」（仮）
 - iii) ポスターセッション：ブレイクアウトルームを利用した発表
- 【第2日】（10月28日）
- i) 研修会：「滋賀県内市町村のアーカイブス事情」（仮）
 - * 大会テーマ研究会の一部として位置づける案もあり。
 - ii) 大会テーマ研究会：
「公文書管理条例と向き合う公文書館－認証アーキビストの挑戦－」（仮）

※施設見学 →会場館（滋賀県立公文書館）を映像により紹介

※企業展示 →両日ともに昼休みの時間にブレイクアウトルームで実施

※オンライン交流会 →1日目の日程終了後、ブレイクアウトルームで交流会を行う
(各部屋の話者とコーディネーターを募集する)

(4)『大会冊子』の印刷について

- ・令和3年度題第4回委員会において、オンラインで大会を開催する時に限っては、資料配布はPDFでのダウンロードとし、冊子の印刷はせずに、資料代も取らないというのはどうか、という意見が委員から出されたが、『大会冊子』刊行の今後の方針については、全史料協全体での議論が必要であり、会長事務局はじめ、各委員会とも協議した上で役員会へ諮っていくこととした。
- ・ただし、今年度の大会については、試験的に、PDF形式で掲載し（無料・パスワード付き）、希望者に限り、冊子製本したものを有償配布する案を役員会で諮ることとした。

(5)各種刊行物について

- ・共催・後援団体について協議（『大会案内』・『大会冊子』に掲載）
- ・従来、大会冊子は大会開催地で印刷されてきたが、オンラインで行われる今大会については、事務手続きの煩雑さを考慮し、事務局所在地で印刷することが了承された。

6. その他

- ・次回委員会…7月半ば頃を予定

7. 閉会